

身延町特産「あけぼの大豆」でまちおこし

活動の経緯

町の特産品である「あけぼの大豆」は、近年、収穫体験の開催やイベントでの販売によりその知名度が年々向上してきたが、一方で小規模農家が多く高齢化や狭小なほ場や耕作放棄地の増加などにより、生産性の向上が図られず、販路が拡大しないのが課題であった。このような状況の中、良質な種子の確保及び、生産性の向上、販路拡大を推進し、ブランド力の強化を図ることを目的として、平成27年度より、JA・商工会・町の3者で協議会設立に向けて検討を重ね、平成28年3月に協議会を設立した。

活動の概要

町の特産品である、大粒で甘みが強い「あけぼの大豆」のブランド化を図り、6次産業化を目指す。



調査ほ場の枝豆品質・収量調査



産地フェア枝豆収穫体験

活動の成果、主な実績等

- 1 種子・研究ほ場確保事業
優良な種子の安定生産・供給に向け、耕作放棄地であった約35aを整備し、施肥や摘心時期の検討などの試験栽培等を実施。
- 2 生産量・収量・品質向上事業
町内11か所のほ場で、環境調査、生育調査、品質・収量調査並びに成分分析による特性の研究、データ収集を実施。
- 3 栽培技術向上研修事業
協議会の会員である、JA山梨みらいや普及センター職員に講師を依頼し、生産者の確保、生産者の技術向上のための勉強会や現地研修会の実施。
- 4 産地フェア枝豆収穫体験
平成18年度に身延町商工会が事業を開始。当初は1会場のみであったが、現在は町内12箇所での開催となっている。県外からの参加者も増加。
- 5 その他
栽培の効率化や省力化に向けて農機具等の整備貸出を実施。